

設計コース（オンデマンド研修）

維持管理情報を反映した計画と実施設計 （処理場・ポンプ場編）

- 1. 対象者** 建設コンサルタントの実務担当で、ストックマネジメント業務に携わる方。
下水道における最低限の知識を有し、ストックマネジメント業務経験者で成果品の体系などがある程度理解されている実務担当者の方
- 2. 目 標** 維持管理情報（水質、運転管理方法他）及び現在、稼働している処理場施設の制約条件を抽出・分析・判断するか等の思考の整理の仕方を学び、ストックマネジメント計画や実施設計に反映することで設計成果品の品質向上を図ることを目指す。
- 3. 申込期間** 令和8年4月1日（水）～令和9年2月19日（金）
- 4. 視聴可能期間** 申込を頂いてから5営業日以内に動画のURL、パスワードをご案内します。
動画のURLを送付した日から8日目まで視聴可能となりますので、
申込するタイミングにご注意ください。
- 例：4月1日14:00に動画URLを送付 ⇒ 4月8日23:59まで視聴可能
- 5. 視聴時間** 約2時間
- 6. 受講料
（円・税込）** 11,000
- 7. 主な講義内容**

視聴時間	教 科 名	講義内容
約2時間	ストックマネジメントにおいて必要な調査	施設情報の収集・整理について
	維持管理情報について	水質だけではなく維持管理情報について
	水質情報・運転管理情報等の活用・分析	水質データや運転方法の分析について
	固形物収支の確認	計画上の固形物収支と収集した運転管理情報の乖離の確認からどのような設計を進めるか
	改築計画・改築設計への反映	事例を使い、実際の運転情報からどのようなことが読み取れるか。また、調査した制約状況からどのように設計を進めて行くか、維持管理者との対話の重要性等。現状の運転状況から、どのようなことが読み取れるか。読み取れたデータをどのように設計に反映するか、施設管理者・維持管理者と対話する資料のあり方。等維持管理情報を反映した計画と設計の重要性を紹介する。

8. その他

- ・録画や申込者本人以外の視聴は禁止しています（参照：オンライン研修受講規約）
- ・上記は標準的なカリキュラムであり、実施カリキュラムは予告なく変更する場合があります。
- ・オンデマンド研修は「クラストリーム」（動画配信システム）を使用して行います。
- ・事前に日本下水道事業団のホームページに掲載している確認用動画を視聴の上、お申し込みください。
- ・令和6年度から公開している内容とおなじものになります。



この研修について

1. スtockマネジメントにおいて必要な調査

実施フロー

施設情報・維持管理情報

調査結果(施設情報・維持管理情報)を活用
失敗事例

2. 維持管理情報について

日報・月報・年報

維持管理情報は水質データだけではない
当該下水処理施設ごとに当然、情報は異なる

3. 水質情報・運転情報等の活用・分析

下水道施設の設計に影響する情報

【状況が見える化】する

日報・24時間トレンド

トレンドグラフ

補助線を入れて[傾向が見える化]する

異常値を外す(誤情報・運転方法変更・故障)

グラフからの読み取り事例

異常値の確認(雨天時)

4. 固形物収支の確認

計画と実際との乖離の把握

各種情報について、設計値・計画値と実際の乖離を把握する
固形物収支が整わない・・・

5. 改築計画・改築設計への反映

各種事例その1(事例1～7)

制約の確認(受入れ・搬出入・場外搬出)

場外搬出する汚泥の性状について

様々な思い・制約・ニーズ

運搬・処分・利活用の制約を勘案して設計する

制約の確認(不具合・苦情など)

運転しやすさへの配慮

維持管理者や、流入水、気候、地域などにより

・・・様々な運転・配慮が行われる

各種事例その2(事例1～30)

良い事例

ご参考) 危ない設計(よくある事例)

各種計画を策定するうえでのポイント

業務の成果をわかり易く示す

まとめ

計画と実施設計の境界線(一例)

多様なニーズについて

我慢する計画・設計について

アセットマネジメントについて

アセットマネジメントにおける留意点

参考基準類

「下水道民間研修(設計コース)」

「維持管理情報を

反映した計画と実施設計

(処理場・ポンプ場編)」